



黒瀬ダムを水源とする県営西条地区工業用水の松山市への分水問題については、西条の「水」を守るというスタンスを進めていきます。

として、医師確保を最優先課題と位置づけ、真に信頼される病院として存続できるよう、全力をあげて取り組んでまいります。また、この構造的な医師不足問題については、国に対して早急な是正対応を求めますとともに、市域、さらには圏域全体の医療体制の問題としてとらえ、地域連携による対応について問いかけてみたいと考えっております。

### 「分水問題」に対する姿勢

現在、多数の市民の皆さま方が関心を寄せられている松山市への分水問題につきましては、去る1月29日に、本市の高橋市議会議長とともに、松山市の中村市長と宇

野市議会議長との会談に臨みました。これを受け、新居浜市も含め直接的な意見交換の場を設ける方向で調整をしているところであります。

この問題に関しましては平成18年度の施政方針において「水は守る」との所信を申し上げましたが、ここに改めて、そのスタンスを明確にいたしたいと存じます。

その上で、松山市への分水問題と、地域活性化戦略にかかわる県営西条工水の利用促進とは、その本質を異にするものであることから、個別に話し合いの場を設けるべきとの認識をもって、関係機関に対する働きかけを行ってまいりたいと存じます。

また、「水」に対する市民の皆さま方の思いも真摯に受け止めながら、今後とも積極的な情報発信に努めてまいりたいと存じます。

### 新幹線生みの親 十河信二先生の顕彰

さらに現在、JR伊予西条駅の東部において、財団法人日本ナショナルトラストが、「四国鉄道文化館（仮称）」の建設を進めているところであります。

新年度におきましては、本市の

名誉市民であり、「新幹線生みの親」である十河信二先生を顕彰するために、この鉄道文化館の管理機能を持つ「十河信二記念館（仮称）」を建設したいと考えております。



十河信二氏  
(1884~1981)  
昭和30年に国鉄総裁に就任され、新幹線の生みの親となるなど、鉄道事業の発展に寄与された。旧西条市の第2代市長であり、現西条市の名誉市民。

交流協定に基づく健康トレーニング知識の導入、野菜ソムリエ等の市民の役に立つ資格取得の促進を更に図ってまいります。

また、現在実施設計をしております新図書館や、計画中の丹原図書館が加わることにより、充実した図書館ネットワークが形成されますことから、この機能を活かし、「知」の面からの「人づくり」にも力を注ぎます。

### 経営感覚と 戦略的思考をもって まちづくりにチャレンジ

私は、引き続き「都市の自立と活力の喚起」「都市の個性の創出と創造力の発揮」「都市間の交流と連携の強化」を政策の基本理念に据えまして、これまで申し上げてまいりました発想の実行に、経営感覚と戦略的思考をもって、積極的な情報発信に努めつつ、果敢にチャレンジしたいと存じます。

また、「市民と肌でふれあえる垣根のない普段着の市政」を政治信条とし、私自身が定期的に各総合支所で執務をする「出かける市長室事業」なども折り込みながら、さまざまな行政課題に全力をあげて取り組む決意であります。

### 『西条パワー』発揮の キーポイントは 「人づくり」

ところで『西条パワー』を発揮するためには、その主体の形成、つまり「人づくり」が重要であります。

この面では、以前から「防災士」の養成や12歳児の防災教育等「人づくり」に思いを持ってまいりましたが、トレーディング・ゲームを通じての起業家マインド醸成、国の機関や研究機関との人事交流、東海大学との教育・研究